

新型コロナウイルス診断法・予防法の評価・検証等の基盤確立に関する研究

■ 研究の対象

2020年1月～2023年3月に当院で新型コロナウイルス感染症を疑って検査を受けられた方

■ 研究目的・方法

大学や企業などで進められている新しい診断キットを評価して、一日も早く質の高い検査法を使えるようにすることを目的として本研究が東邦大学医学部微生物・感染症学講座で計画されました。当院も研究の趣旨に賛同し、協力施設となっております。この研究により「いつでも、どこでも、だれでも」信頼できる診断キットによる検査が他の国と同じスピードで供給されるようになり、安心して安全な医療が提供されるにつながることが期待されます。

当院で保管している残余検体や通常の診療で得られた情報を解析機関へ提供します。個人情報 は削除され、情報管理も厳密に行われますので、あなたのプライバシーは保護されます。

■ 研究実施期間

2020年4月30日～2023年3月

■ 研究に使用する情報

検査の残余検体（血液、鼻咽頭スワブ）及び、病歴、性別、年齢層などの診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ 研究の実施体制

研究代表 東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 教授 舘田一博
共同研究機関 大阪大学 医学研究科
当院の責任者 済生会熊本病院 感染管理室 室長 川村宏大

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 感染管理室 川村 宏大（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上